



神奈川県
教育委員会

令和7年度（令和6年度施策・事業対象）
教育委員会の点検・評価

令和7年9月

はじめに

県教育委員会では、教育の総合的な指針である「かながわ教育ビジョン」の基本理念として「未来を拓く・創る・生きる 人間力あふれる かながわの人づくり」を掲げ、自己肯定感を基盤とした「思いやる力」・「たくましく生きる力」・「社会とかかわる力」の育成を教育目標として、様々な教育施策に取り組んでいます。

この教育ビジョンでは、重点的な取組の一つに「共生社会づくりにかかわる人づくり」を位置付けていますが、インクルーシブ教育を推進するため、全国に先駆け、「インクルーシブ教育実践推進校」を指定し、知的障害のある生徒が高校に入学できるよう特別募集を設けました。令和6年度末現在、18校において、すべての生徒が同じ場所でともに学ぶ取組を行っています。

また、令和6年度からは、「フルインクルーシブ教育推進市町村」に指定した海老名市と共に、地域のすべての子どもたちが地域の小・中学校で学ぶことをめざし、海老名市と連携した研究やメタバースを活用した「対話の場」の開催等により、普及・啓発を開始しました。

こうした取組を通じて、社会の多様化が進む中において、他者を尊重し、多様性を認め合う「思いやる力」を身に付けることができるよう、明日のかながわを担う人づくりを進めていきます。

今後とも、教育ビジョンで掲げた理念の実現に向け、点検・評価の結果を施策・事業の改善に役立てながら、取組を進めていきますので、県民の皆様には、本報告書をご覧いただき、県教育委員会の取組に対するご意見をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

令和7年9月

神奈川県教育委員会

目次

教育長及び教育委員会委員のメッセージ	1
教育委員会について	5
点検・評価の概要	8
点検・評価結果	9
点検・評価一覧	9
主要な取組の結果	10
各取組の結果	16
Ⅰ 生涯学習社会における人づくり	16
Ⅱ 共生社会づくりにかかわる人づくり	22
Ⅲ 学びを通じた地域の教育力の向上	35
Ⅳ 子育て・家庭教育への支援	38
Ⅴ 学び高め合う学校教育	41
Ⅵ 意欲と指導力のある教職員の確保・育成と 活力と魅力にあふれた学校づくり	50
Ⅶ 県立学校の教育環境の改善	56
Ⅷ 文化芸術・スポーツの振興	61
資料	67
○ 令和6年度教育委員会予算体系図	68

教育長及び教育委員会委員のメッセージ



教育長 花田 忠雄

教員を目指す学生が減少し、学校現場では教員不足が顕在化する中、子どもたちに個別最適な学びや協働的な学びを提供するためには、教員の働き方改革をしっかりと進める必要があります。本年3月、県教育委員会は「神奈川の教員の働き方改革に関する指針」を約5年ぶりに改定し、教員の長時間労働の縮減と、ウェルビーイングの向上をめざして具体的な施策を掲げ、県域の市町村と一丸となって取り組むことを宣言しました。

引き続き、教育委員と議論を重ねながら、教員の負担軽減に資する取組を加速させ、教育の質の向上にしっかりとつなげてまいります。



教育委員会委員 下城 一

学校は人を育てる場所です。神奈川県は全国に先駆けて教員の働き方改革を推進してきました。教えることで子ども達の未来を支え、また新任教員をチームみんなで支え、学校にいる全員が一人も残さず進んでいけるよう、学校を巡る教育環境を全力でアップデートしていきます。教えることが自分の専門であると誇りを持って胸が張れる。十分な授業準備のもと子ども達の前に立ち、豊富な知見で保護者の前に余裕を持って立つことができる。なにより未成年である子ども達の前に格段の倫理観を持って立つ大人の鑑。そうした専門家集団。社会が改めてそう評価し直すまで、神奈川県教育委員会はこれからも皆さんを力の限り支え続けていきます。



教育委員会委員 吉田 勝明

「我以外、みな我が師」 私の座右の銘です。

過日、タクシー乗車中の出来事。スマホを見ながら横断歩道をゆっくり歩いている若者がいました。当時、急いでいたせいもあり、「まったく、何やっているんだよ！早く渡ればいいのに、ねえ、運転手さん」とつい言ってしまいました。そこで彼から返ってきた言葉が「いやいやお客さん、もともと道路は歩行者の物、我々はそれを借りて使わせてもらっているのですから、そんな贅沢は言えませんよ！」と。顔から火が出るほど恥ずかしい思いをした瞬間でした。学ぶべき教材は周りにたくさんある。もうすぐ古希となる年齢、30年先を想い、もっと勉強しなければ！



教育委員会委員 笠原 陽子

「教師は未来永劫にまで力を及ぼす。影響がどこで止まるか自分でもわからない」（ヘンリー・アダムズ）

先日、高校生版教育委員会が開催され、参加した高校生からは当日は勿論、事前のアンケートでも、多くの貴重な意見を聞くことができました。「教師の仕事の魅力」という質問に、「人の成長を見ることができる」「先生の言葉は、その子の将来にとって影響を与えている」「学びだけでなく、生徒の気持ちに寄り添ってくれる」「先生の言葉は一生の宝となっている」等。神奈川県全ての先生方に届けたい言葉ばかりでした。

神奈川県の先生方、是非、こうした高校生たちの思いに答えられる学校であり教職員を目指していただきたい。そのために、教育委員として微力ではありますが、教育環境の改善、教育活動の充実に繋がるよう、全力で取り組んでまいります。



教育委員会委員 佐藤 麻子

今春放映されていたACジャパンのCMのスタートライン編は、Equality（平等）とEquity（公平）の違いをわかりやすく示しており、心に残りました。女の子は言います。「スタートラインは、みんな同じだと思ってた。なんでわたしだけこんな後ろから。頑張ってるのに、一生追いつけないのかな。わたしは、未来を選べないんですか。」合図で皆が一斉に走り出すのは一見平等と思われそうですが、もし目に見えないスタートラインの位置が人によって違うのなら、そのレースは公平とは言えません。

神奈川の子たちが未来を選べるように、生まれた環境によって夢を諦めることのないように、引き続き微力ながら努めてまいります。



教育委員会委員 常陸 佐矢佳

夏の参議院選挙では、若い世代の投票行動の変化に注目が集まりました。2025年は、25歳以上の全男性に選挙権が認められた「普通選挙法」制定から100年、女性の参政権獲得から80年、選挙権年齢の18歳への引き下げから10年という三つの節目の年にあたります。

物価高や生成AIの進化、気候変動の行方など、少し先の未来すら予測が難しい時代ですが、子どもたちの柔軟な発想や行動力が明日を切り開く原動力になると信じています。社会と関わる力を養うシチズンシップ教育の推進などを通じて、神奈川の子どもたちの成長と挑戦を支援していきます。

教育委員会について

1 教育委員会の概要

教育委員会は、教育長及び5人の委員（計6人）をもって構成され、この6人の合議により、教育行政の運営に関する基本方針を決定します。

会議は、教育長が招集し、教育長及び在任委員の過半数の出席により開催され、出席者の過半数で議決されます。

なお、教育委員会の権限に属するすべての事務を会議にかけるのではなく、日常的な事務等一定の事務については、教育長に委任されています。

2 教育委員会の構成員

（令和7年4月1日現在）

職 名	氏 名	現職等
教育長	花 田 忠 雄	—
委 員	下 城 一	横浜国立大学教育学部名誉教授
委 員	吉 田 勝 明	横浜鶴見リハビリテーション病院院長
委 員	笠 原 陽 子	玉川大学教師教育リサーチセンター 独立行政法人教職員支援機構玉川大学センター担当 客員教授
委 員	佐 藤 麻 子	R & G横浜法律事務所弁護士
委 員	常 陸 佐矢佳	日経 BOOK プラス編集長

3 教育委員会委員の活動

（1）教育委員会会議

教育委員会委員は、毎月開催される教育委員会定例会及び臨時会に出席します。

また、審議に当たっては、事前に委員一人ひとりが、議案や協議事項について十分な調査や研究を行い、教育委員会会議に合わせて開催している委員協議会で様々な研究協議を行うなど、教育行政の改善・推進に向けた審議の充実に努めています。

（2）その他の活動

教育委員会委員は、教育委員会会議での審議のほか、「かながわ教育ビジョン」に基づく施策の推進に資するよう、教育にかかわる各種会議・行事への出席や施設訪問等を行い、委員会活動の充実に努めています。

令和6年度は、県教育委員会主催事業への参加のほか、1～2か月に1回程度、学校、社会教育施設などを訪問し、施設や事業の概要説明を受けるとともに、授業等の見学、教職員・生徒の皆さんとの懇談等を行い、教育現場の現状把握に努めました。

各種会議等への参加・施設訪問

第48回全国高等学校総合文化祭・岐阜大会 (令和6年7月31日、8月1日 岐阜市)



総合開会式に出席するとともに、美術・工芸部門の会場を視察し、神奈川県代表生徒を激励しました。

令和6年度「優秀授業実践教員表彰」 表彰式 (令和6年11月6日 県庁本庁舎)



教員の人材育成施策の一環として、学校教育における授業実践に優れ、教員の模範となる者(計41名)の表彰式に出席しました。

令和6年度第2回インクルーシブ教育推進フォーラム (令和6年11月23日 県立地球市民かながわプラザ)



共生社会の実現に向けて、すべての子どもが同じ場で共に学び共に育つインクルーシブ教育を推進するためのフォーラムに出席しました。

県立厚木清南高等学校への施設訪問 (令和6年6月25日)



県内で唯一の全日制、定時制、通信制の三つの課程を備える、単位制普通科フレキシブルスクールである県立厚木清南高等学校を訪問しました。

県立釜利谷高等学校への施設訪問 (令和6年10月29日)



クリエイティブスクールとして、基礎から学び直したいという生徒一人ひとりが持つ可能性を丁寧に育てている県立釜利谷高等学校を訪問しました。

県立平塚盲学校及び県立平塚ろう学校 への施設訪問 (令和7年2月18日)



共生社会の実現に向け、地域とともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行っている県立平塚盲学校及び県立平塚ろう学校を訪問しました。

令和6年度 主な活動

活動内容	実績
教育委員会会議	開催回数 15 回 (定例会 12 回、臨時会 3 回) 【付議案件等件数】 付議案件 57 件 報告案件 27 件 請願 3 件 協議・報告事項 18 件
総合教育会議	開催回数 1 回 (第 1 回総合教育会議)
全国都道府県教育委員会連合会主催会議	開催回数 2 回 (全国都道府県教育委員会連合会 第 1 回・第 2 回総会)
1 都 9 県教育委員会主催会議	開催回数 2 回 (1 都 9 県教育委員会 全委員協議会、同 委員協議会)
施設訪問	訪問回数 8 回 (学校 6 回、社会教育施設 2 回)
その他各種行事	インクルーシブ教育推進フォーラム 神奈川県優秀授業実践教員表彰式 高校生版教育委員会 ほか

教育委員会会議の結果や教育委員会委員の活動については、県ホームページからご覧いただけます。

教育委員会会議の結果：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/cnt/f4139/r6/kaigikaisai.html>

教育委員会委員の活動：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/cnt/f4139/r6/katsudou.html>

点検・評価の概要

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という。）が平成19年6月に改正、平成20年4月に施行されたことに伴い、教育委員会は毎年、その教育行政事務の管理執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

県教育委員会の活動については、広報紙や広報番組、ホームページ等の様々な方法により県民の皆様にお知らせしているところですが、法に基づき、「教育委員会の点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、その結果を公表するものです。

2 点検・評価の対象

今日の教育課題を解決していくため、特に、集中的・横断的に進めていく必要のある取組を、本県の教育の総合的な指針である「かながわ教育ビジョン」の「第5章 重点的な取組み」で整理し、そのうち主なものを県の総合計画である「新かながわグランドデザイン実施計画」に位置付けて取り組んできました。

令和6年度施策・事業対象の点検・評価においては、「かながわ教育ビジョン」の「第5章 重点的な取組み」のうち、「新かながわグランドデザイン実施計画」に位置付けた施策・事業及び令和6年度当初予算の「主要事業の概要」に位置付けた施策・事業等の主要なものを点検・評価の対象としています。（9ページ「対象施策・事業一覧」参照）

3 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、「新かながわグランドデザイン実施計画」で設定した指標及びKPIについて分析するとともに、「かながわ教育ビジョン」の8つの大柱に、各々に設定した中柱ごとの取組について「主な取組」及び「今後の取組方針」を記載しています。

また、法に基づき、点検・評価の客観性を確保するため、各取組の実施状況や今後の取組方針について、学識経験者などの有識者からご意見やご助言をいただきました。

<有識者氏名及び役職>

（五十音順 敬称略）

氏 名	役 職
太 田 正 信	神奈川県PTA協議会 会長
折 笠 初 雄	学校法人岩谷学園 学園本部 理事・本部長 桐蔭横浜大学 客員教授
小 堀 和 宏	公益社団法人 神奈川県社会福祉士会 地域包括ケア推進事業部 事業部長
阪 本 光 章	神奈川新聞クロスメディア営業局広告デジタル部員
佐々木 悦 子	NPO教育かながわフォーラム 理事
佐 藤 晴 雄	帝京大学 教育学部長
竹 村 光 史	株式会社光洋 代表取締役社長

（役職は、令和7年7月1日現在）